

# 平成 30 年度 長野県公立高等学校入学者選抜学力検査の結果について

教学指導課

## 1 受検者数 ( )内は前年度比較

- ・ 受検者総数 11,389 人(-448 人)
- ・ 全日制 11,067 人(-444 人) , 定時制 145 人(+2 人) , 多部制 177 人(-6 人)

## 2 教科別結果

( ) 内は前年度数値と増減

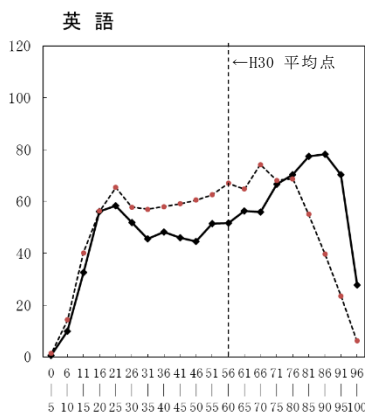
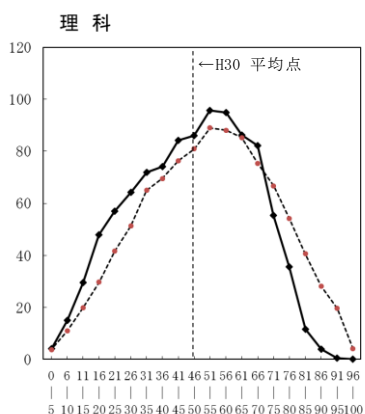
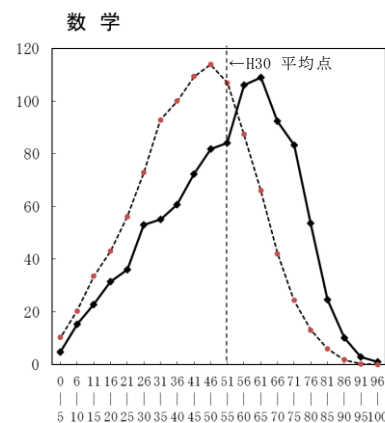
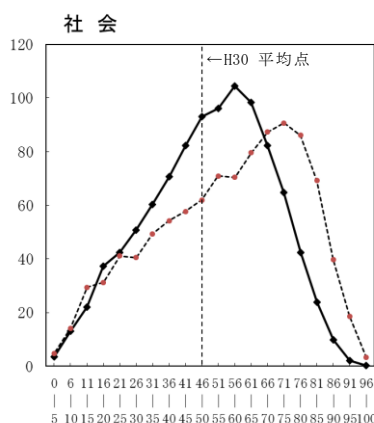
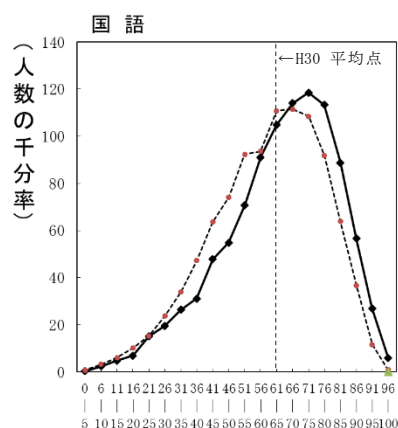
	国語	社会	数学	理科	英語
平均点	64.2 (60.2,+4.0)	50.2 (55.7,-5.5)	51.8 (43.0,+8.8)	47.2 (52.7,-5.5)	57.8 (51.8,+6.0)
100点の人数	9 (0)	1 (4)	1 (0)	0 (10)	34 (12)
0点の人数	0 (0)	3 (5)	10 (15)	2 (2)	1 (0)
標準偏差	17.5 (17.4)	18.7 (22.0)	19.2 (16.9)	18.7 (20.5)	25.8 (23.4)
変動係数	0.27 (0.29)	0.37 (0.39)	0.37 (0.39)	0.40 (0.39)	0.45 (0.45)

○国語、数学及び英語の平均点は、昨年度より上がった。特に、数学は昨年度より約9点上がり平成26年度以降2番目に高い点数となった。

○社会、理科の平均点は、昨年度と比較し5.5点程度下がった。

## 3 教科別得点分布グラフ

—●— H30  
- - - ● - - H29



○英語の得点分布について、平均点が上がりグラフは右側のこぶが強まった。一方左側は昨年とあまり変化がないことから、英語に対して、すべての生徒が必要感を持つことができる授業への改善が求められる。

#### 4 新傾向の問題について

平成30年度学力検査で出題した新傾向問題のうち、平成29年度の問題と比較可能な国語と英語について、結果を考察した。

##### (1) 国語

与えられた説明文を読み取り、それに対する自分の考えを論述する問題。論述の字数は、27年度までは「20字以上30字以内」だったものを、28年度から「80字以上100字以内」に増加した。

(H29年度) 文章内の指定された記述に対する自分の考えを、与えられた条件に従い記述する。

(H30年度) 文章内の指定された記述に対する自分の考えを、筆者の考えを踏まえて与えられた条件に従い記述する。

[考察]

- ・H29年度と比較し、H30年度の無答率は増加した。(右表)
- ・各中学校において、自分の考えを適切に表現することを位置付けた授業改善が進んでいることは窺えるものの、筆者の主張を踏まえた上で自分の考えをまとめ、表現することについては、今後も意識的に授業に取り入れる必要があると考えられる。

	無答率
①平成29年度	6.2
②平成30年度	10.7
差②-①	+4.5

##### (2) 英語

英文を読み、2つのQuestionsに従って自分の経験や考え、思いを適切に英語で表現する問題。(文の数は問わない)

(H29年度) 中学校で自分が努力をした教科について、具体的に記述する。

(H30年度) 外国人が日本に来た際のお勧めの場所と、そこで何ができるかを具体的に記述する。

[考察]

- ・質問に対する2つの答えが内容的に正答であると判断できるものが、H29年度と比較し増加した。(右表)
- ・各中学校において、自身の英語力を活用しながら自分の考えをまとめ、英文で表現する学習に取り組んでいる成果と考えられる。

	正答・準正答率
①平成29年度	31.6
②平成30年度	50.5
差②-①	+18.9

#### 5 外部評価者・中学校からのご意見

[成果]

- ・実生活や実社会に根差した問題が増えており、授業改善に向けたメッセージを強く感じる。
- ・どの教科においても言語能力、思考力を問う問題が増える傾向にあり、授業で「つけるべき力」を正しく評価する方向でよいと感じた。

[課題]

- ・実生活や実社会の中に見られる諸課題の解決に至るような設問の出題がより一層望まれる。
- ・受検者の考えを引き出す設問、考えを問うような工夫をお願いしたい。
- ・思考力・判断力・表現力を問う問題に対し、解答に十分な時間がかけられているのか。50分という時間の中で解答する分量について検討が必要である。

#### 6 今後の対応について

- ・学習指導要領に基づき、知識・技能とともに思考力・判断力・表現力等の学力が総合的に見られる問題となるよう引き続き工夫するとともに、授業改善のメッセージとしても役立てていく。
- ・思考力・判断力・表現力等を問う問題に対する受検者の解答時間の確保の観点からも、問題数、文字数等のバランスに一層配慮したい。